



令和6年度 浮間地区地域円卓会議 概要

■日 時： 令和7年2月2日（日） 9時55分開始 11時30分終了

■場 所： 浮間区民センター3階Bホール

■参加団体： 浮間地区町自治会連合会、青少年浮間地区委員会
北区赤十字奉仕団浮間分団、浮間地域内小中学校PTA
浮間高齢者あんしんセンター、赤羽消防団第七分団
浮間子どもティーンズセンター

■会議概要

東京防災学習セミナーを利用し、自主防災組織と地域防災関係機関との連携について学んだ。

1. 開会のあいさつ 浮間地区町自治会連合会会長

2. 東京防災学習セミナー

(1) 防災ブック「東京くらし防災・東京防災」から学ぶ

東京都より配布されている防災ブックの活用方法について、動画視聴を通して学んだ。

(2) 講演

『首都直下地震への地域の備え

-自主防災組織と地域防災関係機関との連携-』

講師： 梶 秀樹先生（筑波大学名誉教授、防災アドバイザー）

(3) 質疑応答・意見交換

3. 閉会のあいさつ 浮間地区町自治会連合会副会長

■参加者感想・ご意見

- ・ マンションに住んでいるため、自治会や町会とコミュニケーションがあまりとれていない。災害時の対応なども考えると、改善すべき点だと思った。町会自治会の方々も同じように考えていることが知れてよかった。
- ・ ソーシャルキャプタルの話が大変興味深かった。講義の中で紹介されていた『孤独なボウリング - 米国コミュニティの崩壊と再生』を読んでみようと思う。
- ・ 町会としては、マンションに住んでいる方や外国人の方へのアプローチが難しいと感じている。町会の規模が大きくなるとなおさらその傾向が大きくなるのが悩ましいところである。
- ・ 行政と地域住民の役割分担について、本部による統括方式のほかにもDAO方式という考え方もあることが知れて参考になった。
- ・ 発災時のことを考えると不安が大きい。自分は今は顔見知りも少ない状態であるため近隣とのコミュニケーションから始めていきたい。
- ・ 自分としては共助をしていく気持ちは大いにあるが、高齢のため周りから止められる場面もあると予想される。できることと危険なことを冷静に見極めていきたい。
- ・ 防災のイベントについて堅苦しく考えていたが、ゲーム形式など皆が楽しめるかたちにしたり、規模も無理のない範囲で開催するといったことでも意味があるということがわかってよかった。
- ・ 講師の先生の実体験を踏まえた話を聞いて参考になったので、もっとたくさんの事例紹介や成功例失敗例を聞きたくなった。

